



三次中央会報

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrs.server-shared.com
例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル
例会日 / 月曜日 12:30~13:30

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム クリスマス家族会
- 次回例会日時 2024年1月15日(月) 12:30~
- 次回プログラム 新年例会、賀寿卓話
平田会員(卒寿)、沖会員(傘寿)、
佐々木会員(年男)、安藤会員(年男)

会長 / 上田 秀樹
幹事 / 栗本 清秀

●2023~24年度 国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

●2023~2024年度 三次中央RCスローガン
平和を実感し、
ロータリーをもっと楽しもう

■第1408回例会記録

- 日時.....2023年12月11日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員
- ゲスト紹介
県立三次高校教諭 白石卓也様

■開会挨拶.....上田会長

大谷選手、ドジャースと契約

皆さんこんにちは。先週の木曜日は、ゴルフ同好会の忘年杯を庄原カントリークラブで行いました。11名の参加予定者でしたが2名の方が欠席となり9名の参加者でした。曇り空の元スタートしましたが、雨男の私の力で3ホール目から雨が降り始め寒い一日となるのかと思いきや、その後2ホール終えたら一気に晴れ間が出てきて終了まで晴れで過ごすことができました。晴れ男の酒井会員、武口会員ありがとうございました。

結果は一位酒井会員、二位山崎会員、三位山縣会員でした。馬券は該当者なしで全額会に寄付となりました。これもひとえに酒井会員の頑張りにありました。酒井会員ありがとうございました。プレイ終了後は広島三次ワイナリーで美味しい肉とワインで一日の反省なりして親睦を深めることができました。

暗いニュースの中、明るい話題が入ってきました。エンゼルスからフリーエージェントになっていた大谷翔平選手がドジャースと契約合意しました。10年で7億ドル(約1,015億円)というMLB史上最高額となる破格の契約です。MVP、本塁打

王などなどを手にしていますが、エンゼルスとの6年間ではプレーオフ進出はなく、勝てるチームに身を置くことを優先したものだと思います。16年に日本ハムで日本一、23年今年、WBCで世界一に立ち、新天地でワールドチャンピオンを狙うことになりそうです。皆さんが関心のある税金のことですが、連邦政府へ税金37%、カリフォルニア税13.3%、その他3.45%の内訳で約53.75%が税金になるようです。年棒7,000万ドルとすると1年間3,763万ドルの税金を支払うようです。日本円に換算すると年間約55億円です。ふるさと納税はできるのでしょうか。平田会員、圓道会員どうですか。



本日の後半は青少年奉仕委員会担当で「県立三次高校生徒との商品開発について」のゲスト講演です。よろしくお祈りします。

■**幹事報告**.....**栗本幹事**

- 井内ガバナーから要請のありました、本年7月の秋田豪雨災害支援金を、節約例会資金より拠出いたしました。
- 次回1409回例会はクリスマス家族会の夜間例会となります。上半期最終例会です。
- 三次もののけミュージアムより新春企画展の案内を回覧しております。
- ゴルフ忘年杯の収支報告書を回覧しております。

■**出席報告**.....**山縣委員長**

●第1406回11月27日

会員数	36名	Make-up	3名
欠席	4名	出席合計	35名
欠席者のうち規定免除	1名	出席率	100.00%

- Make-up 沈君、光永君、水野君
- 第1408回 本日の出席は36名中30名です。

■**親睦委員会**.....**酒井委員長**

来週18日はいよいよクリスマス家族会です。いろいろと担当をお願いしております皆さま、よろしく申し上げます。服装は例会がありますので、男性の方は上着、

ネクタイの着用をお願いいたします。車はグランドホテルの上の方の駐車場が止めやすくお勧めです。出欠変更のある方は例会終了までにお申し出ください。

■**SAA**.....**池田SAA**

●**会員ニコニコBOXへご出宝**

- 酒井君 忘年杯ゴルフ大会、運良く優勝しました。ありがとうございました。(大)
- 山崎君 ゴルフ、ベスグロと準優勝、ありがとうございました。(大)
- 谷君 長く続いたコロナがおさまってきました。これから出席できるように頑張ります(大)
- 上田君 ゲスト、白石先生をお迎えして。忘年杯、お世話になりました。
- 野村君 担当例会です。よろしく申し上げます。
- 平田君 行く「年」を惜しんで。
- 佐々木君 先週の例会を無断欠席しました。「ゲストに白石先生をお迎えして。」
光永君、小根森君、石田君、沖君

ニコニコBOX本日出宝額 19,000円

2023~24年度 忘年杯ゴルフ大会

2023/12/7 庄原CC



- 5位までは次のとおり
- 優勝 酒井正治
 - 準優勝 山崎真也
 - 第3位 山縣 隆
 - 第4位 角谷俊典
 - 第5位 上田秀樹 (敬称略)



皆さんこんにちは。

本日は広島県立三次高等学校の白石卓也先生に、「学校における地域連携」の取り組みについてお話しいたします。それでは白石先生よりしくお願いいたします。

野村明弘青少年奉仕委員長



学校における地域連携の推進

広島県立三次中・高等学校
教諭 白石卓也

皆様こんにちは。広島県立三次高校の白石です。野村さんと素敵なお縁をいただきまして、生徒と、地域との連携への取り組みの機会をいただくことができました。

お話しさせていただく前に、まず、今高校はどんな変化の中にあるのか、岐路に立っているのかについてお話しさせていただきたいと思います。

画像をご覧くださいながら話させていただきます。

生徒の机の上にはタブレット端末ipadが置かれています。全生徒が保有しています。前方にモニターが見えます。これは、遠隔におられる先生が授業しているのが映っている光景です。こちらは先生の授業している写真ですが、先生は何に向かって授業しているかという、目の前にいるのは生徒ではなくカメラです。このカメラに向かって授業しているわけです。そしてこの映像を見ているのは遠隔にいる生徒なのです。この方法にはコロナ禍の影響が大きかったと言わざるを得ません。学校に登校できなくても、これで授業が成り立つわけです。

次にこういう時代だからこそ教諭も勉強しなけ

ればなりません。こちらの写真は皆さんもよくご存知の大手予備校の代々木ゼミナールです。学んでいるのは我々教員です。現場の教師が予備校の先生に教えてもらう。これが教師にとってはとても勉強になるのです。学校外から見ると本末転倒と思われるでしょう。ところがそのノウハウがとても参考になるのです。教師も時代に即したやりかたというものを、学ばなければならない時代なのです。

授業が相対ばかりではなくオンラインで行うことが可能なこの時代、学校は生徒の為に何をしてやる方がいいのでしょうか。

この表をご覧ください。2000年度と2021年度の大学入試の変化です。

2000年度では一般入試で合格している人の割合が65.8%、推薦31.7%、総合選抜1.4%であったのが、2021年では一般が49.5%、推薦37.6%、総合12.7%と、現在では推薦入試、総合選抜入試が、大学入試を決めていきつつある、と言っても過言ではないかと思えます。

皆様のお手元にお配りしているプリントの裏面をご覧ください。福知山公立大学地域経

営学部、学校推薦型選抜の自己アピール書の記入要領です。今大学では、大学に入って何をしたいのかということを増えるようになってきました。こういう時代にあって、高校の役割とは？教員の役割とは？どのようなことを生徒にしていくことがいいのか？

こちらの写真は、私の前任校での取り組みです。地元の商工会から、地域の祭りをもっと盛り上げるにはどのようにしたらいいか、一緒に考えていられないか。というお誘いを受けました。協働の取り組みです。参画する過程で高校生にできる体験というものには大きなものがあると思います。生徒と共に向かっていく…伴走。この時の経験から伴走ということが教員の担う役割のような気がしました。

- ① 場作り
- ② 高校生と社会をつなげる役割
- ③ 指導者と伴走者の二刀流

これからの「公立」学校が担う役割は、パブリックな存在として知識の伝授にとどまらず、地域生活に貢献することでできる地域の核。この仮説を総合的な探究の時間として、自己の生き方、在り方と、一体的で不可分な課題を自ら発見し解決していくことではないかと思えます。

三次高校では、新しい学校価値と文化の創造として、巴陵(総合的な探究の時間)を設け「巴陵のアウトライン(3年間の流れ)を実践しています。

今回、野村会員と連携させていただいているのもこのコースの中の一つ、地域の政治経済への関わり方の取り組みの一つです。

この10月1日にマルシェとして備北丘陵公園で取り組みをし、商工会の皆さんと共に活動しました。また、芸備線、福塩線の利用促進=高校生の視点からや、科学コースでは広島県立大学庄原キャンパスで、先生の協力を得て、より深い科学学習の体験をしました。これらの活動を通じ生徒たちにとっては、大学進学後の具体的な行動目標、自己の将来的な在り方のイメージが少しずつでも形作られていくのではないかと考えます。

さて、野村社長との連携の目的ですが、

- ① 地域とのつながりを通して自己の生き方と在り方を模索してほしい。
- ② 「深く」関わることで次のステージに繋げてほしい。
- ③ 地域の皆さんにプラスになる場にしたい。というものです。

最後に、今高校は変化の中にあります。いい意味で学校のあり方を少し崩して、地域との関わり、場、環境を作るのが学校の在り方ではないかと。日々の活動の中に押し込んでいきたいと思っています。

お手元にお配りしたプリントにアドレスを載せています。高校との連携、ご希望ご意見などあればご連絡してください。



■謝辞.....上田会長
■点鐘.....上田会長